

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月02日

計画の名称	拠点性と風格のある中心市街地の整備												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	福山市												
計画の目標	福山駅周辺地区は、交通の要衝であり、都市機能上極めて重要な立地にありながら、郊外型店舗の進出等により駅前の商業機能は衰退し、空洞化が進んでいる。今後、人口減少・高齢社会に対応できる持続可能なまちづくりを推進するうえで、エリアマネジメントや多様な都市機能の集積を図る民間都市開発事業を促進し、求心力のある交流拠点の形成を図る必要がある。 当地区のまちづくりの方向性を共有することで、これらの活動を促進し、拠点性及び求心力の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	78	A	78	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		H31末
1	福山駅周辺における流動客数(平日)を869人/日(H26)から895人/日(H32)に増加させる。 福山駅周辺における流動客数(平日)を測定する。	869人/日	人/日	895人/日
2	福山駅周辺における流動客数(休日)を717人/日(H26)から738人/日(H32)に増加させる。 福山駅周辺における流動客数(休日)を測定する。	717人/日	人/日	738人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	福山市	直接	福山市	-	-	福山駅南口地区基本計画 等作成等事業	計画コーディネート業務 A= 11ha	福山市						78	0	-	
												小計						78		
												合計						78		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
福山市社会資本総合整備計画評価委員会を開催し、評価を行う。	2021年（令和3年）1月29日
	公表の方法
	市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>定量的指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初現況値（H29当初）（平日）869人/日（休日）717人/日</li> <li>・最終目標値（H31末）（平日）895人/日（休日）738人/日</li> <li>・最終実績値（R2）（平日）1051人/日（休日）991人/日</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>伏見町では遊休不動産のリノベーションによる複数の新規出店や、UR都市機構による土地有効利用事業の実施、地域住民が主体となった道路や駐車場を活用した実証実験などによりコンテンツが増加し、市街地再開発事業等が可能な経済環境が整いつつある。また、三之丸町では、2012年に閉店となった旧キャスパの再生事業（優良建築物等整備事業）の着手やホテルの建設工事の着工、東桜町ではマンションの建設工事の着工など、民間投資が生まれてきている。</p>
特記事項（今後の方針等）	
福山駅前再生ビジョンの実現に向けて、福山駅周辺デザイン計画を官民が連携して着実に実施していくことで更に民間投資を呼び込み、市街地再開発事業等が可能な経済環境を整えていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	福山駅周辺における流動客数（平日）		
	最終目標値	895人 / 日	2018年（平成30年）3月に市民、事業者、行政がめざす福山駅前の姿を共有し、連携して再生に取り組んでいくための方向性を示した「福山駅前再生ビジョン」を策定し、福山駅周辺の公共不動産と民間不動産を活用し、にぎわいを回復させ、エリア価値が上昇する局面をつくり出し、再開発などの建物の新築が可能な経済環境を整えていくこととした。また、その実現に向けて、行政と民間が行う具体的なソフトとハードのプロジェクトを定めた官民連携の計画である「福山駅周辺デザイン計画」を策定し、この福山駅周辺デザイン計画を官民が連携して着実に実施することで、当該地域の再生を実現していくこととしている。福山駅前再生ビジョン策定後、伏見町では遊休不動産のリノベーションによる複数の新規出店やUR都市機構による土地有効利用事業の実施、地域住民が主体となった道路や駐車場を活用した実証実験の実施などにより、コンテンツが増加し想定以上にまちに変化が出た結果、新型コロナウイルスの押下げ影響がある中であっても目標値を上回る実績値となった。
	最終実績値	1051人 / 日	
2	福山駅周辺における流動客数（休日）		
	最終目標値	738人 / 日	2018年（平成30年）3月に市民、事業者、行政がめざす福山駅前の姿を共有し、連携して再生に取り組んでいくための方向性を示した「福山駅前再生ビジョン」を策定し、福山駅周辺の公共不動産と民間不動産を活用し、にぎわいを回復させ、エリア価値が上昇する局面をつくり出し、再開発などの建物の新築が可能な経済環境を整えていくこととした。また、その実現に向けて、行政と民間が行う具体的なソフトとハードのプロジェクトを定めた官民連携の計画である「福山駅周辺デザイン計画」を策定し、この福山駅周辺デザイン計画を官民が連携して着実に実施することで、当該地域の再生を実現していくこととしている。福山駅前再生ビジョン策定後、伏見町では遊休不動産のリノベーションによる複数の新規出店やUR都市機構による土地有効利用事業の実施、地域住民が主体となった道路や駐車場を活用した実証実験の実施などにより、コンテンツが増加し想定以上にまちに変化が出た結果、新型コロナウイルスの押下げ影響がある中であっても目標値を上回る実績値となった。
	最終実績値	991人 / 日	